

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	小丸川魚種放流委託事業					開始年度	
基本目標	活力ある水産業の振興					終了年度	
担当課(局)	産業振興課	担当係	農林畜産係	記入者	山本 勇樹	評価者	長町 信幸
21年度決算	300	千円	22年度予算	300	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	1,437 千円		22年度人件費	1,457 千円		事業従事者数	0.20 人 0.20 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	アユ(稚魚)を放流することによって、小丸川に生育するアユの生息数の回復を図ることを目的とする。
事業の内容	小丸川流域において、あゆ(稚魚)67kgの放流を委託する。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 生息数の拡大	放流を実施することで、激減していたあゆの生息数の拡大を図る。
	2	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 放流量(アユ)	アユ2回(4月・9月)放流量の確認。
	2 放流量(ウナギ)	ウナギ1回(4月)放流量の確認。
	3 -	-

◎達成状況

指標名		単位	20年度	21年度	22年度	
成果指標	生息数の拡大	目標値	-	-	-	
		実績値	-	-	-	
		達成率	%	#VALUE!	#VALUE!	
	0	目標値	mg/l	-	-	-
		実績値		-	-	-
		達成率	%	#VALUE!	#VALUE!	
0	目標値					
	実績値					
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標	放流量(アユ)	目標値	kg	40	40	67
		実績値		40	40	
		達成率	%	100.0%	100.0%	
	放流量(ウナギ)	目標値	kg	28	36	0
		実績値		28	36	
		達成率	%	100.0%	100.0%	
	-	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	

◎事務事業の評価

妥当性(必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	小丸川漁業協同組合も本事業と併せて同量以上の自主放流を実施することで受益者による費用負担も行われており、事業目的からみても町が行う事業として適切と判断できる。事業を廃止した場合、アユ、ウナギの増殖はまず見込めず、貴重な水産資源の減少が懸念される。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	放流成果について、具体的な数値は把握できていない。特にアユについては生育環境がその年の気象状況等に影響を受けやすく一概には言えないが、実際に漁を行い状況を把握している組合の意見では、アユ及びウナギの増殖を確認している。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	増殖を目的とするならば、現行以上の放流数量が望ましいが、予算の範囲内での放流数量に留めており、これ以上の削減は困難。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	特になし

事務事業名	小丸川魚種放流委託事業	担当課(局)	産業振興課
-------	-------------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	小丸川に生息する魚類の生息数回復のために必要な事業と考える。	今後の方向性					
			事業の方向性	拡充				
			現状維持			○		
			縮小					
			廃止					
			廃止	縮小	現状維持	拡充		
			コスト					

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎小丸川の自然環境保全と魚類の生息数確保のために最低限必要と判断する。
	コスト	現状維持	